資料１

白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略
現行計画評価結果

令和２年９月

白石市地方創生対策室

1　現行計画評価について

（１）評価の趣旨

新たな総合戦略の策定にあたり、現行計画に掲げられた施策の取り組み状況を点検・評価し、今後の方向性について検討することで、より実効性の高い計画を目指すことを目的とします。

（２）評価の方法

■数値目標及びKPIの達成状況

・目標値に対する達成度を、割合で表せるものは割合（%）で記入し、目標値を達成したものについては「達成」、実績がなかった事業は「実績なし」と記入しています。ＫＰＩと関連する各事業に関して各課に振り返り及び自己評価について照会を行い、その結果を「関連施策の方向性」として表に示しています。

■取組に対する評価基準

【自己評価】

「Ｓ」: 施策の内容以上の取組みを実施し、おおいに成果が上がっている。
「Ａ＋」: 施策の内容について概ね取り組むことができ、ある程度成果が上がっている。
「Ａ－」: 施策の内容について概ね取り組んできたが、あまり成果が上がっていない。
「Ｂ」: 施策の内容について、一部、取り組めていない。
「Ｃ」: 施策の内容について、あまり取り組めていない。

【寄与度】

「大」: 目標の達成に大きく寄与した。
「中」: 目標の達成にある程度寄与した。
「小」: 目標の達成にあまり寄与していない。

【関連施策の方向性】

「継　続」: 引き続き同様の方法で実施していく。
「拡　大」: 事業量（対象者、回数など）の拡大を図る。
「縮　小」: 事業量（対象者、回数など）の縮小を図る。
「見直し」: 事業量はほぼ同程度で、やり方等の見直しを図る。

2　数値目標及びＫＰＩの達成状況

基本目標１　産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまちづくり

[数値目標]

	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
年間就職件数 (大河原公共職業安定所白石出張所管内)	1,283 人 (H22 度)	1,200 人 (H31 度)	931 人	911 人	815 人	782 人	676 人	56%
市内事業所従業者数（公務を除く）※	14,281 人 (H21年)	13,500 人 (H31 年)	14,435 人	13,299 人	13,630 人	13,630 人	13,630 人	101%

※経済センサスより最新値を使用

[ＫＰＩ]

	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	R1	達成度	関連施策の方向性
市公式ホームページアクセス数	263,509 件 (H26 年度)	500,000 件	249,282 件	414,780 件	424,094 件	505,230 件	639,171 件	達成	継続
白石蔵王駅内振興施設（しろいし情報館）入館者数	—	900 人 (H27 年度)	2,193 人	52,808 人	39,221 人	37,431 人	32,510 人	達成	継続
創業等相談件数	年間 3 件程度 (白石商工会議所中小企業相談所)	年間 6 件	年間 3 件	年間 12 件	年間14件	年間15件	年間 13 件	達成	継続
後継者育成支援事業申請数	—	10 件 (H27 年度)	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	実績なし	見直し
進学応援奨学金貸付人数	—	年間 2 件	年間 1 件	年間 0 件	年間3件	年間2件	年間2件	達成	継続
インターンシップ参加人数	—	年間 120 名	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	実績なし	終了
直売所会員等の栽培農産物売上の増加	78, 145千円	117, 000千円	53,966 千円	62,639 千円	69,768 千円	99,684 千円	213,900 千円	達成	継続
直売所会員等の栽培農産物面積の拡大	5ha	7ha	—	3ha	3.02ha	5.15ha	3.27ha	47%	継続

[取組の自己評価]

	S	A＋	A－	B	C
（1）雇用確保と創業・起業促進のための支援の充実	3	6	3	-	-
（2）若年層に対する人材育成の支援と地元就職・地元居住の確保	1	2	-	-	2
（3）農林業の６次産業化促進と担い手の育成	1	7	1	-	-

【総括】

数値目標としている市内事業所従業者数は目標としていた 13,500 人を維持できているものの、公共職業安定所における年間就職件数は目標値の 6 割弱にとどまっている。民間事業所による職業紹介の普及等も背景として考えられるが、若者の就労の一層の促進を図っていく必要がある。

平成 28 年度より市公式ホームページをリニューアルし、CMS 方式により簡単に更新できるようにした結果、更新頻度も上がり、目標を上回るアクセス数となっている。また、農商工連携を核とした賑わい交流拠点「しろいし SunPark」を整備し、直売所農産物の売上も大きく伸びており、本市の魅力を広く伝え、また、農林業振興に向けた取り組みが、賑わいの創出につながっている。

一方で、インターンシップの実施など、学生に対する働きかけに取り組んできたが、民間での実施もあり、市が直接実施することについて検討する必要がある。

引き続き、市内産業の振興及び事業所や就業者に対する支援の充実に努めるとともに、若者世代の就業促進に効果的な施策を推進していくことが今後の課題となっている。

基本目標２　市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまちづくり

[数値目標]

	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
年間観光客入込数	約 75 万人 （H22 年）	100 万人 （H31 年）	739,555 人	784,373 人	788,461 人	738,289 人	1,198,379 人	達成
年少人口及び 生産年齢人口 社人研推計からの 増加数	—	5 年間で 100 人	-90 人	—	—	—	※	—
		21,529 人	24,000 人	23,440 人	22,798 人	22,120 人	21,455 人	-74 人

※社人研推計（H30.3）の R2 年 21,083 人（国調ベース）に対し、R2 年.8 月末現在 21,409 人（住基人口）

[ＫＰＩ]

	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	R1	達成度	関連施策の方向性
自然体験事業参加人数	—	40 人	—	47 人	24 人	実績なし	実績なし	0%	見直し
白石城関連施設入館者数	110,097 人 （H26 年度）	130,000 人	112,260 人	116,014 人	100,966 人	97,601 人	96,097 人	74%	継続
【再掲】市公式ホームページアクセス数	263,509 件 （H26 年度）	500,000 件	249,282 件	414,780 件	424,094 件	505,230 件	639,171 件	達成	継続
白石城天守閣入館者数	67,655 人 （H26 年度）	86,000 人 （H27 年度）	67,885 人	71,314 人	62,387 人	62,074 人	64,158 人	75%	継続
外国人観光客の Wi-Fi スポットアクセス数	—	900 件 （H27 年度）	53 件	61 件	46 件	331 件	288 件	32%	拡大
東北新幹線白石蔵王駅 1 日当たり乗車人数	861 人/日 （H26 年度）	1,000 人	869 人	862 人	869 人	874 人	890 人	89%	拡大
市外からの移住世帯数 （定住促進事業申請者）	17 世帯 （H26 年度）	24 世帯 （H27 年度） H31 年度までに 100 世帯	33 世帯	28 世帯 （61 世帯）	28 世帯 （89 世帯）	24 世帯 （113 世帯）	39 世帯 （152 世帯）	達成	見直し
定住世帯数 （定住促進事業申請者）	63 世帯 （H26 年度）	H31 年度までに 400 世帯	84 世帯	93 世帯 （177 世帯）	85 世帯 （262 世帯）	70 世帯 （332 世帯）	98 世帯 （430 世帯）	達成	見直し

※定住世帯数・市外からの移住世帯数（　）内の数字は累計

[取組の自己評価]

	S	A＋	A－	B	C
（1）地域資源をフル活用した着地型観光による交流人口増の実現	1	16	3	-	-
（2）広域連携による観光振興・地域振興事業の展開	-	6	-	-	-
（3）定住・移住支援策の拡充	-	3	2	1	1

【総括】

交流人口拡大の指標としている年間観光客入込数は、目標の 100 万人を上回る約 120 万人となっている。市公式ホームページのアクセス数増加の他、多言語案内ホームページ「しろいし観光ナビサイト」を開設し、外国人観光客の誘客につながっている。また、歴史文化や伝統産業等を活用し、本市らしさを体験できる各種イベント等を開催し、国内外から観光客が増加している。ＫＰＩに掲げている各種施設の入館者数は目標値を下回っており、来館促進に向けた一層の創意工夫が必要である。また、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は観光に大きな影響を与えているが、アフターコロナを見据え、新しい観光の在り方を模索し、交流人口の拡大につなげていくことが課題となっている。

年少人口及び生産年齢人口の減少抑制については、当初の社人研推計が H30.3 の推計で下方修正され、その推計値の減少幅と住民基本台帳人口の減少幅を比べると、人口減少のスピードは抑制されている。また、移住・定住促進施策として、定住者への助成や住宅取得に対する補助、子育て応援住宅の整備などに取り組み、市外からの移住世帯や定住世帯が目標値を上回っている。今後は、市内在住の若者に対する定住促進施策について、効果的な実施方法等を検討していく必要がある。

基本目標３　安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまちづくり

[数値目標]

	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
本市の合計特殊出生率※１	H20～24 年まで 1.36	H25～29 年まで 1.60	1.36	1.36	1.36	―	―	85%
子どもを産み育てやすい環境だと感じる市民割合※２	約 60%（H25 年度）	70%（H31 年度）	8%	10%	8%	12%	7.3%	10.4%
			30%	32%	38%	32%	28%	40.0%

※１　人口動態保健所・市町村別統計より（統計年度：平成 25～29 年度）　　※２上段：産みやすい　下段：育てやすい

[ＫＰＩ]

	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	R1	達成度	関連施策の方向性
市内出生者数	210 人（H26 年度）	230 人	214 人	201 人	201 人	172 人	135 人	59%	拡大
屋内遊び場利用者数	8,723 人（H26 年度ふれあいプラザ内やんちゃっこ利用者数実績）	10,000 人	8,370 人	9,115 人	9,169 人	59,962 人	90,429 人	達成	継続
【再掲】市公式ホームページアクセス数	263,509 件（H26 年度）	500,000 件	249,282 件	414,780 件	424,094 件	505,230 件	639,171 件	達成	継続

[取組の自己評価]

基本的方向	S	A＋	A－	B	C
（1）地域における子育て支援の充実	3	10	1	3	2
（2）乳幼児及びその保護者の健康の維持･増進	-	6	1	-	-
（3）学校教育環境の整備と家庭・地域の教育力の向上	-	5	2	-	-

【総括】

市内出生数は、目標の年間 230 人に対し、令和元年実績で 135 人と約６割の実績となっている。合計特殊出生率は平成 30 年～令和 4 年度の統計結果が令和 6 年ごろ発表される見込みのため現在の状況としての数値は確認できないが、平成 25 年～平成 29 年度の期間では基準値と変わらなかった。市民に対するアンケート調査の結果をみると、産みやすいと回答した人は約 1 割となっている。子ども医療費助成の所得制限の撤廃により、医療にかかる経済的負担の軽減と早期受診につながっているが、産婦人科医師、医療機関の確保を含め、安心して出産できる環境の整備が課題となっている。

子育てしやすい環境づくりにおいては、平成 30 年度に「こじゅうろうキッズランド」がオープンし、年間８万人が利用しており、屋内の遊び場として、また、子育て支援、多世代交流の拠点として活用されている。この他、「子育てホッとマップ」の作成や「子育て支援コーディネーター」の配置を行い、必要な子育て支援の利用につなげている。今後は、子育て家庭が安心して働くことができる就労環境の整備に向けた体制の検討と、子どもの学力向上を支援する体制の強化を図っていく必要がある。

基本目標４　美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまちづくり

[数値目標]

	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	R1	達成度
白石に住みたい･住み続けたいと思う市民の割合（市民アンケート）	―	70% (H31 年度)	58%	65%	59%	59%	56%	80%
公共施設等総合管理計画への理解度（市民アンケート）	―	70% (H31 年度)	―	―	10%	10%	4.0%	6%

[ＫＰＩ]

	基準値	目標値	H27	H28	H29	H30	R1	達成度	関連施策の方向性
【再掲】定住世帯数（定住促進事業申請者）	63 世帯 (H26 年度)	H31 年度までに 400 世帯	84 世帯	93 世帯 (177 世帯)	85 世帯 (262 世帯)	70 世帯 (332 世帯)	98 世帯 (430 世帯)	達成	見直し
【再掲】市外からの移住世帯数（定住促進事業申請者）	17 世帯 (H26 年度)	H31 年度までに 100 世帯	33 世帯	28 世帯 (61 世帯)	28 世帯 (89 世帯)	24 世帯 (113 世帯)	39 世帯 (152 世帯)	達成	見直し
東北本線白石駅 1 日当たり乗車人数	2,849 人/日 (H26 年度)	3,000 人/日	2,908 人	2,936 人	2,928 人	2,842 人	2,860 人	95%	拡大
市民バス延べ利用者数	92,096 人 (H26 年度)	100,000 人	105,035 人	100,979 人	100,050 人	98,556 人	98,769 人	99%	継続
【再掲】市公式ホームページアクセス数	263,509 件 (H26 年度)	500,000 件	249,282 件	414,780 件	424,094 件	505,230 件	639,171 件	達成	継続

※定住世帯数・市外からの移住世帯数（　）内の数字は累計

[取組の自己評価]

基本的方向	S	A＋	A－	B	C
（1）身近な暮らしを支える地区生活拠点の形成	-	7	2	1	-
（2）市内交通・情報ネットワークの構築	1	1	2	-	1
（3）地域特性を生かした都市環境の整備	-	5	-	2	1

【総括】

白石市に住みたい・住み続けたいと思う市民の割合は 6 割前後で推移しており、目標の 70%には到達していない。KPI に掲げている移住・定住世帯数は目標達成しており、市民がより快適に安心して暮らしていくことができる環境整備が課題となっている。

安全で快適な生活環境に向けて、空き家の適正管理及び活用促進や遊休地・未利用地の活用の推進を進めているほか、平成 29 年 6 月に「地域公共交通網形成計画」を策定し、市内公共交通の充実に取り組んでいる。公共交通は市民生活の利便性の確保のみならず、移住・定住促進や二次交通の充実による観光誘客にもつながることから、「地域公共交通網形成計画」に基づき地域公共交通網の充実を図っていく必要がある。

また、数値目標として掲げている「公共施設等総合管理計画」の理解度について、計画を理解している市民は少ない。今後策定予定の「立地適正化計画」と併せ、人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりに向けて、市民の理解を得ながら検討・推進していく必要がある。

◎地方創生推進交付金事業　KPI達成状況

次世代につなぐ稼げる農山漁村づくり事業

No.	事業名	事業概要		交付対象事業費	令和元年度			
					目標値		実績値	達成率
1	産地の魅力向上 推進事業	伝統産業後継者育成 及び産業継承事業	伝統こけし工人の育成を通じた後継者育成と産地活性化を目指す。	3,960,000	市外からの移住世帯数（定住促進事業申請者）	22世帯	**39世帯**	**達成**
		城花町しろいし事業	加工等による収益性と観光性を併有した花木栽培実証試験を行う。	3,846,747				
		白石ブランド魅力向上 推進事業	観光資源を活用した誘客施策について、調査・分析結果を基に様々な関係者を巻き込んでアイデア創出、地域観光活性化の機運の醸成等を促進する。	3,190,000				
2	６次産業化推進事業	6次産業化チャレンジ法人 支援事業	市戦略の担い手となる法人の自立化に向けた設備投資・試験操業・販路確保等への支援。	87,000,000				
		しろいし農産物収穫等 イベントＰＲ事業	白石市農業祭を中心とした秋の市内イベント全般に対するＰＲを強化する。	1,918,461	直売所会員等の農産物売上の増加額（千円/人）	435千円	**1,182千円**	**達成**
3	農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業	農産物等販売施設整備事業	農産物・加工品等食事提供施設に対する補助。	160,000,000				
4	食味日本一の 「しろいし米」 復活プロジェクト	日本一の米復活プロジェクト 推進事業	食味日本一の「白石米（ササニシキ）」復活に向けた作付支援・販売促進等を図る。	3,101,032				
計				263,016,240				

地域資源をフル活用した賑わいまちづくり事業

No.	事業名	事業概要		交付対象事業費	令和元年度			
					目標値		実績値	達成率
1	地域ブランド (新白石三白) 創出推進事業	地域ブランド(新白石三白) 創出推進事業	地域で生産された、一次産品や加工品、料理メニュー、工芸品等、地域活性化に意欲をもつ事業者等の支援を行うとともに、地域ブランド創出に向けた取り組みを推進し、中心市街地の活性化を図る。	5,500,000	本市への滞在人口率（倍）	1.10倍	**1.01倍**	**92%**
2	歴史資源の 磨き上げによる 賑わい創出事業	歴史文化魅力向上事業	地域に古くから伝わる伝統文化の再発見と調査・研究を行い、地域資源の魅力の掘り起こしや磨き上げを進め、歴史伝承に関する魅力発信と文化芸能伝承に関する魅力発信を図る。	7,588,860				
3	新たな体験交流資源による賑わい創出・地域資源の魅力掘り起こし・創造事業	大坂夏の陣再現イベント 強化事業	まちのシンボルである白石城を中心とした市中心部の賑わい創出を図るため、歴史･文化等の観光資源を活用した体験型・着地型観光充実やイベントの開催、効果的なプロモーションを推進し、交流人口の拡大を図る。	6,782,279	市民バス延べ利用者数（人）	110,000人	**98,769人**	**90%**
		甲冑試着体験強化事業		2,018,141				
		フィルムコミッション事業	映画・テレビ・ＣＭ等の撮影誘致を通じ、白石市の知名度向上、経済効果の波及、観光客の増加等を図る。	4,570,358	年間観光客入込数（人）	840,890人	**1,198,379人**	**達成**
計				26,459,638				

住みたい・住み続けたいまちしろいし　～若者と企業をむすぶプロジェクト～

No.	事業名	事業概要		交付対象事業費	令和元年度			
					目標値		実績値	達成率
1	若者と企業を つなぐ・むすぶ 事業	移住交流サポートセンター 運営事業	本市に在住している学生等の若者の定住や、近隣市町村や近接県・東京圏へ転出している学生等の若者のUIJターンを促進するためのツアー等の企画や相談窓口を整備し、移住・定住と交流人口の拡大を図る。	29,551,346	しごと暮らし体験ツアー等参加者からの新規就職者数（人）	7人	1人	14%
2	若者へ つたえる事業	起業・継業支援 セミナー事業	本市に対する理解を深めてもらうことを目的とした起業・継業支援セミナーを開催し、地元企業やまちの魅力を発信し、知ってもらう取組を強化していく。	333,300	インターンシップ（しごと暮らし体験ツアー等参加者含）参加人数（人）	20人	10人	50%
		次世代技術者育成事業	ＩＣＴ技術等の新技術を学ぶことができる研修所を整備し、人材育成と交流人口の拡大を図る。	300,000	市外からの移住世帯数（世帯）	22世帯	39世帯	達成
計				30,184,646				

◎地方創生拠点整備交付金事業　KPI達成状況

伝統的工芸品紹介施設リノベーションによる地域資源連携強化・しろいしブランド収益力向上拠点整備事業

No.	事業名	事業概要		交付対象事業費	令和元年度			
					目標値		実績値	達成率
1	展示・体験・販売等スペースのリノベーション	展示体験販売スペースのリノベーション	増築等実施設計監理費	11,340,000	当該施設及び市内主要連携交流施設の雇用者数の増（人）	7人	18人	達成
			増築工事費	95,268,380				
		体験交流用屋外工房増築	増築工事費	11,618,907				
		屋外多目的広場の整備	屋外多目的広場整備工事	4,268,235	当該施設及び市内主要連携交流施設の販売・体験・入館料等の収入の増加額（千円）	18,500千円	127,768千円	達成
		増築に伴う内外壁及び空調機器の改修	内外壁等改修工事	24,506,160				
			空調機器改修工事	21,931,918				
2	紹介展示体験販売関連備品類の抜本的リノベーション	弥治郎こけし村展示体験販売機能等リノベーション業務委託	・提案書作成、図面作成 ・什器製作、取付における監理業務 ・カウンター、商品陳列棚、サイン等製作	19,980,000				
		弥治郎こけし村リノベーション効果促進ドローン映像製作業務	白石市の四季折々の魅力を日本人及び海外からの観光客へ伝えるために、ドローンなどによる空撮映像とスチル画像を撮影して映像を制作し、弥治郎こけし村及び観光物産施設でのモニターで公開する。	1,998,000	当該施設来館者の市内・県内主要観光地間との重複訪問比率の増（%）	39%	93%	達成
3	点在する地域資源をつなぐ２次交通試験運行	地域資源結節（白石市観光施設間シャトルバス運行）業務	土日祝日における民間等による２次交通の運行に向けた調査を行うための市内観光施設をつなぐシャトルバスの試験運行を行う。	1,590,060				
4	新たな誘客・販売促進事業の実施	弥治郎こけし村リノベーション事業誘客販売促進業務	弥治郎こけし村のリノベーション効果促進事業としてイベントを開催し、伝統工芸品である弥治郎こけしのＰＲと来館者を拡大させることで施設の販売促進を図り、本市の観光振興、地域活性化に繋げる。	1,296,000				
計				193,797,660				

農商工と融合したワーク・ライフ・バランス実現のための子育て支援・多世代交流複合施設整備事業

No.	事業名	事業概要		交付対象事業費	令和元年度			
					目標値		実績値	達成率
1	子育て支援・多世代交流複合施設整備	子育て支援・多世代交流複合施設実施設計及び整備工事等	子育て支援・定住促進及び多世代交流の強化により、仕事と生活の調和のとれた魅力ある地域づくりを推進するため、施設整備を行うもの。	294,408,000	子育て支援・多世代交流複合施設の利用者数（人）	75,000人	84,960人	達成
					白石市を「子どもを育てやすいまち」だと評価する20歳から40歳代の市民の割合（%）	64.4%	40.4%	62.7%
					子育て支援・多世代交流複合施設と農商工連携施設間の相互利用比率（%）	50%	60%	達成
計				294,408,000				